

熊本市町内自治会組織の 運営に関するガイドライン

01 町内自治会の役割と現状 編



I 町内自治会の役割と現状 編

- 町内自治会とは 1
- 町内自治会の重要性 2
- 持続可能な町内自治会運営のためには
. 3
- 熊本市の町内自治会の現状 . . . 5

I 町内自治会の役割と現状 編

町内自治会とは

・町内自治会とは

私たちが暮らす地域には、こどもから高齢者まで、たくさんの人たちが暮らしています。考えや意見は様々かと思いますが、「安全・安心な暮らし」「快適な暮らし」は、地域に暮らす誰もが望んでいます。

しかし、個人や各世帯だけでそれを実現するのは困難であり、限界があります。

そこで、住民同士が住み良いまちの実現のために、同じ地域に住む人たち等で「自主的に」つながり、支え合い、活動する地域活動団体、それが町内自治会です。

・どんな活動をしているの？

住み良いまちの実現のために、様々な活動が行われています。

防災

- ・地域の災害危険箇所の把握
- ・防災訓練
- ・災害時の安否確認 等

福祉活動

- ・子ども会活動の支援
- ・高齢者見守りや生活支援 等

行政からの 依頼事項

- ・行政情報の回覧
- ・アンケート調査協力
- ・行政関係の会議出席 等

広報 回覧

親睦・交流

- ・お祭り
- ・スポーツ大会（運動会など）
- ・文化活動（文化祭など）
- ・世代間交流活動 等

環境美化・清掃

- ・ごみステーションの管理
- ・公園・道路などの清掃活動
- ・廃品回収 等

防犯

- ・パトロール
- ・防犯灯の設置と維持管理
- ・登下校時のこどもの見守り 等



I 町内自治会の役割と現状 編

町内自治会の重要性

都市化の進展や少子高齢化、また、住民意識や価値観、在住外国人の増加による住民の多様化など、地域社会を取り巻く環境が大きく変化し、地域の結束力は弱まりつつあると言われています。

しかし、あらゆる世代がこれからも住み慣れたまちで安心して暮らし続けるためには、そこに住む人達が、互いに支え合い、助け合いながら、様々な課題を解決し、弱まりつつあるつながりを維持・再生していくことが必要です。

今のような時代だからこそ、町内自治会の役割はますます重要になっています。

・町内自治会に対する考え方が「多様化」しています

町内自治会は、日常生活の中で発生する地域の課題を互いに協力し合いながら解決し、地域毎に特色のある住み良いまちづくりを行っています。

しかし、単身世帯の増加、労働力の高齢化など、地域住民の生活スタイルも変わり、町内自治会に対する個人の考え方が多様化してしまったことで、地域活動に参加する方が減少している地域もあります。

〈参加しない主な理由〉

- ▶ 忙しくて参加する時間が取れない
- ▶ 何をしているのかわからない
- ▶ 知り合いや、一緒に参加する人がいない
- ▶ 自分には関係ない

・町内自治会の様々な役割

町内自治会は、こどもや高齢者など、地域住民が安心して暮らせるよう、日頃の見守りや、日常生活での助け合いなど、地域社会の安全・安心に貢献する重要な役割を担っています。暗い夜道を照らす防犯灯があるのも町内自治会のおかげです。

特に、熊本地震では、災害発生時や復旧期において、町内自治会等が主体となって避難所を運営するなど、地域の中でつながり、互いに支えあう「自助」・「共助」の重要性が再認識されました。

地域課題を解決し、住み良いまちを作るためには、地域の住民同士が気軽に声をかけ合えるような、顔の見える関係性が求められます。

I 町内自治会の役割と現状 編

持続可能な町内自治会運営のためには

町内自治会の活動を持続可能なものとするために、次の考え方を地域住民のみなさんで共有しましょう

- 町内自治会は地域コミュニティの要であり、安全安心な暮らしを維持する団体です

町内自治会は、地域コミュニティで自主自立のまちづくりを推進する、安全安心な暮らしの維持に欠かせない存在です。

このことを地域住民・事業者・行政がそれぞれ認識し共有していきましょう。

- 町内自治会は地域住民が相互に協力しながら自主的に活動していく団体です

地域活動は、地域住民のみなさんが主役です。地域住民合意のうえで協力し、まちづくりを進めていきましょう。

- 町内自治会役員や地域住民の多様な価値観・自主性を尊重しましょう

幅広い世代や文化の違いなど、考え方が多様化するなか、それぞれの価値観や自主性を尊重しながら地域活動をしましょう。

- 地域住民のみなさんが地域の一員としてまちづくりに取り組んでいきましょう

町内自治会、地域住民、事業者、行政は、地域コミュニティを構成する一員であり、みんなで協力しながら、暮らしやすいまちづくりに取り組んでいきましょう。



町内自治会・地域住民・事業者・熊本市がお互いの役割を認識しながら、みんなで町内自治会の活動を支えていくことが必要です。

1. 町内自治会の役割

- 安全安心で快適なまちづくり
- 暮らしやすい地域コミュニティの維持と形成
- 地域社会に開かれた参加しやすく偏りのない持続可能な町内自治会運営
- 地域住民の多様な価値観や自主性を尊重し、活動への参加や町内自治会の加入を促進
- 地域住民同士の交流を促進し、互いに助け合う関係を構築

2. 地域住民の役割

- 地域住民自らが、地域コミュニティを構成する一員であることを認識
- 町内自治会の活動趣旨や重要性について、関心を向け、理解することに尽力
- 町内自治会の活動への協力や参加

3. 事業者の役割

- 事業者自らが地域コミュニティの一員であることを認識
- 町内自治会の活動への協力や参加
- 不動産事業者においては、住宅居住者や入居予定者へ町内自治会への加入等の情報を提供

4. 熊本市の役割

- 町内自治会の活性化と持続可能な取り組みのための支援や施策を検討・実施
- 町内自治会の活動への協力や参加
- 市役所から町内自治会へ協力依頼する場合は負担軽減するよう配慮



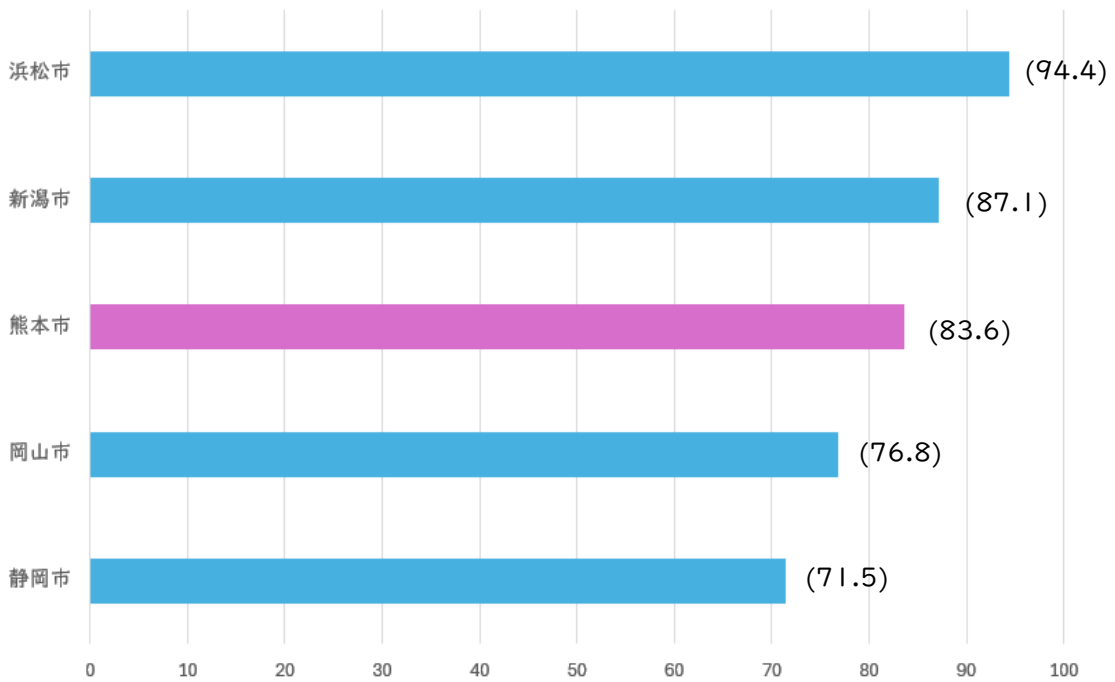
I 町内自治会の役割と現状 編

熊本市の町内自治会の現状

熊本市には町内自治会が913あり、283,602世帯が町内自治会に加入しています。町内自治会加入率は83.6%と政令指定都市の中でも高い状況ではありますが、核家族や高齢者の1人暮らし、マンション暮らしの増加などにより、減少傾向にあります。

住みよいまちづくりを実施するためには、自治会加入が大事になってきます。

指定都市 自治会加入率（※熊本市調べ）



出典：令和7年度指定都市地域振興主管者連絡会議資料より

熊本市の自治会加入率推移

